



2008年9月24日

乗り方も、使い方も自分を表現するクリエイティブコンパクト 新型ルノー トウインゴ発売

ルノー・ジャポン(所在地:東京都中央区、COO(最高執行責任者):徳山公信)は、コンパクトな車体と高い機能性という先代ルノー トウインゴのコンセプトを受け継ぎつつ、14年ぶりのモデルチェンジにより新たな機能と魅力を備えた、新型ルノー トウインゴを9月24日(水)に発表、11月7日(金)から全国のルノー正規販売店で発売します。

小型車を得意とするルノーが1993年に発売したルノー トウインゴは、小さなモノフォルムの車体に高い機能性を兼ね備えたエポックメイキングな小型車として、14年もの間モデルチェンジが行われることなく、およそ240万台が販売されたライフサイクルの長いモデルとなりました。新型になったルノー トウインゴは、先代のコンセプトを受け継ぎつつ現代の車に求められる多彩なニーズに応え、乗り方も、使い方も自分を表現するクリエイティブコンパクトとして生まれ変わりました。

新型ルノー トウインゴは、以下の3つの特徴をもつフレンチコンパクトカーです。

- ・ ファン:安全で軽快な走行性能
- ・ ファンクショナル:操縦性と高い機能性
- ・ ファッションナブル:豊富なアクセサリとグッズによるカスタマイズ化

AT 限定免許で運転可能なシーケンシャルモード付 5速トランスミッション(クイックシフト 5)を搭載する「ルノー トウインゴ」と、ターボエンジンのダイナミックな走りが楽しめる「ルノー トウインゴ GT」の2モデルがラインアップされます。

車種名	全国希望小売価格(税込)
ルノー トウインゴ	¥1,980,000
ルノー トウインゴ GT	¥2,400,000

リサイクル料金:トウインゴ ¥15,360 トウインゴ GT ¥15,890

ボディカラー: スパーク・オレンジ M エクストリーム・ブルー M パール・ブラック M
カルメン・レッド

あなたに素敵と快適を。

My フレンチスタイル ルノー

1993年4月にヨーロッパで発売された先代ルノー トウインゴは、コンパクトなモノフォルムの車体に高い機能性を兼ね備えたエポックメーキングな小型車として、14年もの間モデルチェンジが行われなかった、ライフサイクルの長いモデルとなりました。先代ルノー トウインゴには右ハンドル仕様の設定がなく、ルノーにとって重要な市場であるイギリスで販売されなかったにもかかわらず、およそ240万台の販売台数を記録しました。

日本では、1995年から2002年までの間およそ5,000台を販売し、現在も多くのトウインゴが街を走っています。

新型ルノー トウインゴは、コンパクトな車体を生かした使い勝手の良さ、そしてコンパクトな車体にもかかわらず多彩な室内アレンジによる高い機能性といったルノー トウインゴの特徴を引き継ぎつつ、「乗り方も、使い方も自分を表現するクリエイティブコンパクト」のコンセプトの下、新しい時代に対応した品質や環境性能、安全性を備えています。

この新型ルノー トウインゴの特徴は、ファン、ファンクショナル、ファッショナブルの3つに大きく分けられます。

ファン:運転して楽しいハンドリング、軽快な走行性能、またそれを支える高度な安全性

新型ルノー トウインゴのひとクラス上のハンドリング、走行性能、安全性は、先代ルノー ルーテシアに採用されていたシャシーをベースに開発することで実現しました。

直径26mmのアンチロールバーを備えたマクファーソンタイプのフロントサスペンションは、ロールを適度に抑えた走行安定性と快適性の向上をもたらし、直径22.5mmのアンチロールバーを備えたコンパクトで軽量なH型ビームリアサスペンションは、ラバーブッシュを挟み込むことで、振動が車体に伝わることを抑えています。このラバーブッシュは、ハニカム構造となっていて、効率の良い振動遮断性と高い剛性による走行安定性に貢献しています。

新たに設定された新型ルノー トウインゴ GTのシャシーには、高い走行性能と高い快適性の両方を実現するために、専用のチューニングが施されています。より堅いブッシュを装備したサスペンションにより、コーナリング中の安定性をいっそう高めると同時に、アッパーストラットブッシュにより、ハンドリングの精度も高められました。より高度な車体の安定性を達成するため、フロントショックアブソーバーには、圧縮技術が使われています。また、電動パワーステアリングには専用チューニングが施され、よりダイナミックでより高いドライビングプレジャーを実現しています。

エンジンラインアップは、新型ルノー トウインゴには1.2 16V 75馬力エンジンが、新型ルノー トウインゴGTには新開発の1.2 TCE(turbo control efficiency)100馬力エンジン(TCE100)が搭載されています。

1.2 16Vエンジンは、75馬力の最高出力を5,500回転で、107Nmの最大トルクを4,250回転で発生する、低回転でのレスポンスに優れたエンジンです。

新開発のTCE100エンジンは、ドライビングプレジャーと燃費のバランスを追及したエンジンです。100馬力の最高出力を5,500回転で、145Nmの最大トルクを3,000回転で発生するこのエンジンは、1.2リッターエンジンとターボの組み合わせにより、燃費は1.2リッターと同等ながら、1.4リッター並の馬力と、1.6リッター並のトルクを発生します。小径タービンとコンプレッサーによる低慣性ターボは、ターボラグを最小限に抑えることができ、2,000回転で最大トルクの97%を発生するため、低回転でもレスポンスの良い加速が可能です。2速、3速、4速ギアでエンジン回転数が4,500回転以上になると、ターボのオーバーブーストが働き、さらに大きなパワーとトルクをもたらします。

組み合わせられるトランスミッションは、1.2 16Vエンジンにはマニュアルモード付5速(クイックシフト5)、TCE100エンジンには5速マニュアルトランスミッションです。

クイックシフト5は、5速マニュアルトランスミッションに電子制御油圧クラッチを組み合わせ、クラッチ操作と変速操作が不要のトランスミッションで、AT限定免許で運転することができます。このトランスミッションは、オートマチックトランスミッションと同様の操作で運転できるオートマチックモードと、ジョイスティ

ック型のギアレバーで自由に変速操作が行えるマニュアルモードを備えています。また、ECU(エンジンコントロールユニット)と連動したトランスミッション・コンピューターによる最適なギアシフトにより、マニュアルトランスミッションに比べて、3%程度燃費が向上します。

新型ルノー トウインゴには、運転の楽しさを支えるクラスを超えた安全性が備わっています。フロントには 259mm のディスクブレーキが、リアには 8 インチドラムブレーキが採用されたほか、電子制御制動力配分システム付 ABS と緊急時ブレーキアシストシステムを装備することで制動力を高めました。新型ルノー トウインゴ GT には、ESP(横滑り防止装置)が標準で装備されます。

展開時に頭部と胸部に加わる衝撃を最適に分散するよう設計された助手席用エアバッグを含む、フロント、サイド、カーテンの 6 つのエアバッグを標準で装備するほか、衝突時に体がシートベルトの下側に潜り込んで腹部を圧迫するサブマリン現象を防ぐためのアンチサブマリン形状のシート、助手席と後席には ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカーを装備しています。

ファンクショナル: 小回りが利く操縦性、高い機能性、エコノミー&エコロジー。クラスを超えた居住性とコンフォート

新型ルノー トウインゴは、先代ルノー トウインゴの強みであった実用性をさらに高め、クラスを超えた居住性とコンフォートを備えています。

タイヤをボディの四隅に配置し、フロントとリアのオーバーハングを極力短くすることで、スポーティーさを強調する現代的なデザインへと生まれ変わった新型ルノー トウインゴは、先代ルノー トウインゴに比べ 170mm 全長が長く(3,600 mm)、250 mm 全幅が広く(1,655 mm)、20 mm ホイールベースが長く(2,365 mm)なったにもかかわらず、回転半径は先代ルノー トウインゴの 5m に対し 4.9m~5.2m(タイヤサイズによる)と操縦性は全く犠牲にしていません。

左右独立リアシートは、別々にスライド、折り畳みができるため、乗員数や荷物の大きさに応じて荷室をアレンジできます。荷室容量は、VDA 計測値で 165~285 リッター(シート位置による)、リアシートを畳むと 959 リッターまで拡大します。荷室開口部床面の高さが 679 mm と低いため、荷物の出し入れも楽に行えます。また、小物を入れる収納スペースは、先代ルノー トウインゴ比およそ 2 倍の 28.4 リッターへと大幅に増えました。

先代ルノー トウインゴに比べて広がった室内空間は、クラスを超えた居住性とコンフォートをもたらします。前席の頭上空間は+20 mm の 897 mm、後席のニールームは+30 mm の 230 mm へと拡大しました。後席は左右独立式となり、別々にスライドすることができ、大人 2 人がゆったりと座ることができます。スライド長は 220 mm あり、10 mm 刻みの調整が可能です。また、バックレストのリクライニングは、25 度から 35 度の間で、5 段階の調整が可能です。

より操作性を考慮したドライビングポジションは視野が広く、死角が少なくなりました。ステアリングには高さ調整機能が新たに装備されました。センターメーターは、運転席に向かって角度が付けられているため視認性がよく、視線の移動も少なくてすむため、安全性も高まります。

新型ルノー トウインゴ GT には、オートエアコン、シート高調整機能、電動パノラミックガラスルーフ、クルーズコントロールなどの快適装備が搭載されています。

ルノーは、環境性(エコロジー)と経済性(エコノミー)の社内基準としてルノーeco2(エコツー)を設定し、この基準を満たしたモデルに eco2 のロゴを表示しています。新型ルノー トウインゴもこの基準を満たすモデルです。

eco2 は、以下の条件を満たしたモデルに表示されます。

- CO2 排出量が 140g/km 以下(欧州基準計測法: EU Directive 80/1268/EEC による)または代替燃料(バイオ燃料等)を利用していること
- 車両の 95% がリサイクル可能な素材であり、5% 以上のリサイクルプラスチックが使用されていること

- ・ ISO14001 の環境基準を満たした工場生産されていること

ファッションブル:豊富なアクセサリとグッズにより、あなただけの”My Twingo(マイ・トゥインゴ)”を実現

新型ルノー トゥインゴは、時代を反映した「コネクティビティ(接続性)」とカスタマイゼーションにより、運転する人のセンスを表現します。

携帯音楽プレーヤーを接続するための RCA ソケットと、ハンドルから手を離さずにオーディオ操作ができるサテライトスイッチを標準で装備した 80W CD/MP3 プレーヤー・ラジオは、オプションのオーディオコネクションボックスを追加することで、携帯 MP3 プレーヤー、iPod、USB キーといった多彩な機器が接続できます。

ドア、ボンネット、ルーフに貼って個性を表現する、様々なデザインのエクステリア・デカールをオプション設定しました。デカールの組み合わせで、自分だけのトゥインゴをデザインすることができます。

室内を彩るユニークなアクセサリとして、ミラー付リップスティック型収納ボックスのメイクアップボックス、駐車券や iPod が収納できるオーガナイザーボックス、手元を照らす小型ライトが付いたライトアップボックス、ダッシュボードトレイ内の小物が動き回るのを防ぐ、シリコンの突起の付いたダッシュボードマットを設定しました。